# 怪人の話

巨人伝説というか怪奇話というか、山々には不思議な話が多い。北秋田地方では田代山にそんな話が多いようだが、大館地方ではどうであろうか。

話の内容は詳らかでないが似た話を探すと長木地区に多くみられ、例えば、志根刈沢（しねかり）の熊鷹（くまたか）森に六尋の縄も届かない岩穴があって、怪力の巨人が住んでいたという話や、大石沢の大倉には三つ目の怪物が居たという話、館が沢では長さ一尺三寸、幅六寸の足跡が雪の上に残されていたという話があり、つい最近まで籠谷（かごや）では、木に登るのが歩くよりすばやいサルのような機敏な男が山に居ると語り伝えられていた。